

Bコース 綱島の旧家と緑をたずねる

約5.8km



1 池谷家 綱島東1-8

江戸時代から南綱島村の名主を務めていた旧家(内部は非公開)。明治40(1907)年に、池谷道太郎は、綱島の土壤に最適の桃、日月桃を作り出しました。敷地には日月桃の碑があります。

2 諏訪神社 綱島東2-10-1

祭神として建御名方命を祀っています。永禄(1558~1570年)の頃に、武田家の家臣だった綱島三郎が、信濃国諏訪明神の上社を勧請したといわれています。明治6(1873)年に南北綱島村の鎮守とされました。

3 長福寺 綱島台28-1

浄土真宗の寺院で山号は綱島山。綱島18騎の一人だった児島賀典(後に佐々木賀典法師)が、文禄元(1592)年に開基。本尊は阿彌陀如来です。

4 綱島古墳 綱島台1

5世紀後半から末葉に造られた、直径20メートル、高さ3メートルの円墳。地域の首長の墓と考えられます。鉄刀、須恵器甕、円筒埴輪などが出土しました。横浜市指定史跡です。

5 綱島公園 綱島台1

約80本の桜があり、毎年4月初めに桜まつりが開催されます。

6 綱島市民の森 綱島台1

公園から、スギ、ヒノキ、モウソウ竹の森を通り抜けると、晴れた日にはみなとみらい地区まで見える展望台と、かつての特産品にちなむ桃の里広場があります。桃の里広場では例年3月中旬頃「綱島桃まつり」が開催されます。

7 飯田家 綱島台17-5

江戸時代より綱島村の名主を務めました。飯田家第10代、飯田助太夫廣配は、横浜開港から明治(1868年~)にかけて、養蚕、製茶、天然製氷などを地域に導入し、地域における産業の開発に尽くしました。主屋と長屋門が横浜市指定有形文化財です(内部は非公開)。

8 東照寺 横浜七福神

綱島西1-13-5

曹洞宗の寺院で山号は綱島山。慶安2(1649)年に生外意鉄大和尚が開山。本尊は薬師如来坐像です。横浜七福神の布袋尊を祀っています。